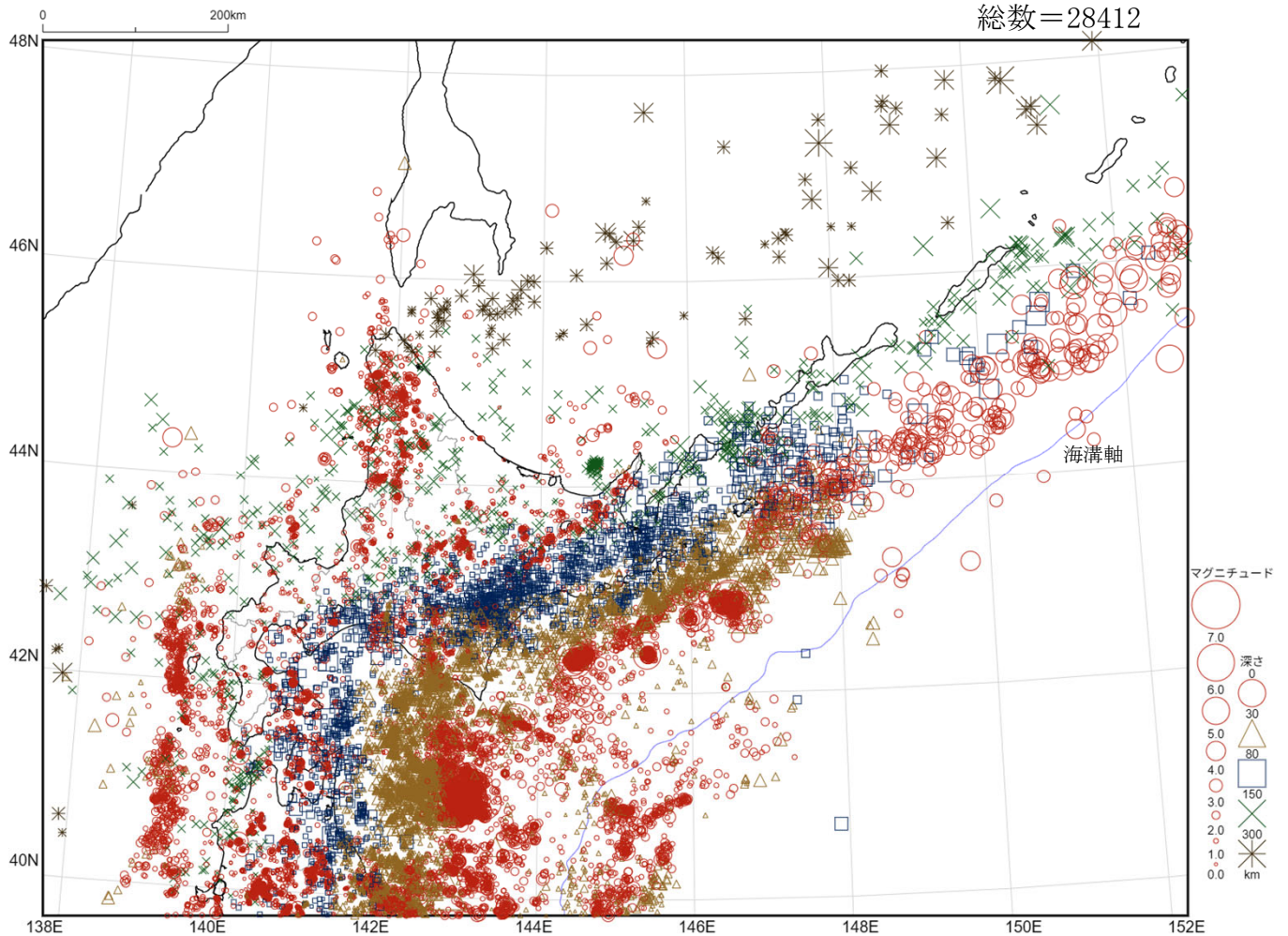


# 北海道の地震活動図

2025年1月～12月

札幌管区気象台

## 震央分布図



・本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

## 地震概況（2025年1月～12月）

2025年に北海道内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は、275回（2024年は166回）でした。このうち震度4以上は13回（2024年は3回）、年間を通して観測された最大の震度は5強でした（「北海道の最大震度別・月別地震回数表」参照）。

7月30日08時24分、ロシア、カムチャツカ半島東方沖を震源とする地震（Mw8.8、深さ35km、震央分布図の範囲外）により、北海道太平洋沿岸東部・中部・西部に津波警報を発表し、根室市花咲で78cm、十勝港で71cm（いずれも暫定値）などの津波を観測しました。また、釧路・根室地方で震度2を観測したほか、道内で震度1を観測しました。この地震により、北海道で重傷1人、軽傷17人の被害が生じました（令和7年11月14日17時現在、総務省消防庁による）。

12月8日23時15分、青森県東方沖を震源とする地震（M7.5、深さ54km）により、北海道太平洋沿岸中部に津波警報、北海道太平洋沿岸東部・西部に津波注意報を発表し、浦河で50cm、十勝港で30cm、えりも町庶野で0.3m、苫小牧西港で27cm、白老港で26cmなど、道内各地の沿岸で津波を観測しました（いずれも暫定値）。また、函館市で震度5強を観測したほか、道内で震度5弱～1を観測しました。この地震により、北海道で重傷1人、軽傷10人の被害が生じました（令和7年12月16日15時現在、総務省消防庁による）。

この活動図は、札幌管区気象台のホームページに掲載しています。

[https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake\\_report.html](https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake_report.html)

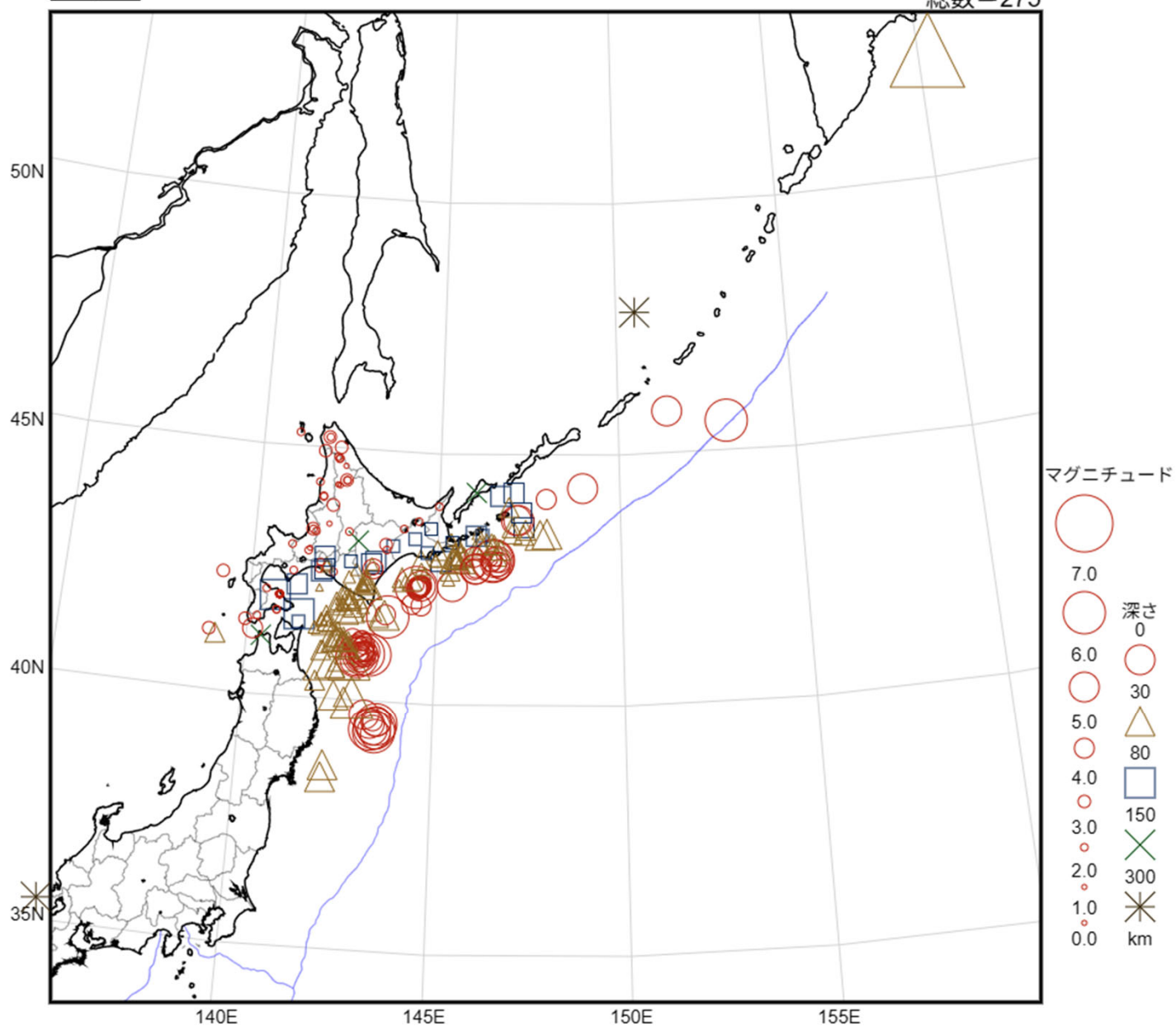
この資料に関する問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課 TEL 011-611-6125

# 北海道の震度観測点で震度1以上を観測した地震の震央分布図

2025年1月1日～2025年12月31日

0 200km

総数=275

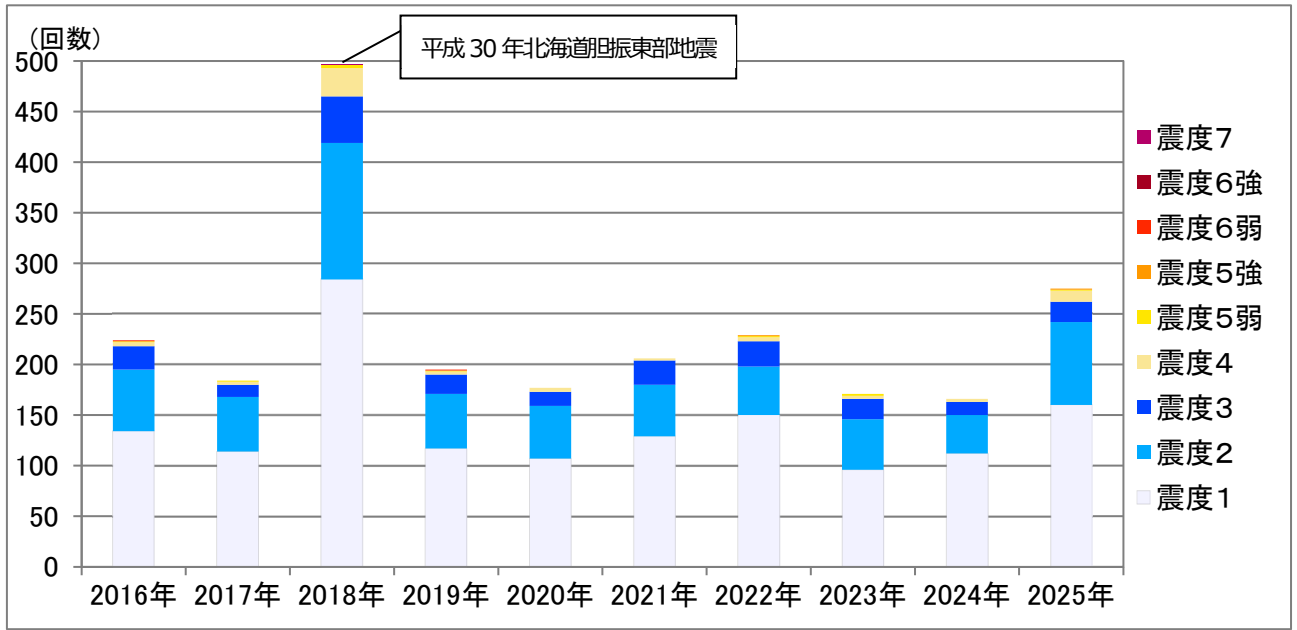


2025年 北海道の最大震度別・月別地震回数表

震度 月	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	小 計
1	7	3								10
2	9	4								13
3	14	5	1							20
4	13	5		1						19
5	10	7	2	4						23
6	16	7	2	2						27
7	12	7	1	1						21
8	12	6	4							22
9	12	4								16
10	15	3		1	1					20
11	15	12								27
12	25	19	10	2		1				57
合計 (2024 年)	160 (112)	82 (38)	20 (13)	11 (3)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	275 (166)

2016年～2025年 北海道の最大震度別・年別地震回数表

震度 年	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	小 計
2016	134	61	23	4	1		1			224
2017	114	54	12	3	1					184
2018	284	135	46	28	3				1	497
2019	117	54	19	3	1		1			195
2020	107	52	14	4						177
2021	129	51	24	2						206
2022	150	48	25	4	1	1				229
2023	96	50	20	3	2					171
2024	112	38	13	3						166
2025	160	82	20	11	1	1				275
合 計	1403	625	216	659	10	2	2	0	1	2324



## 本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。